

フードバンク狛江 ニュースレター



発行：NPO 法人フードバンク狛江 TEL/FAX 03-5497-0272 mail : info@fb-komae.org

市庁舎作業所と事務所・倉庫での活動を自粛しています

松原通りいなげや前に事務所・倉庫が移転してすぐに新型コロナウイルス感染対策で緊急事態宣言発出となり、活動自粛となりました。

それでも、相談件数が増えている市の困窮相談窓口こま YELL への食料支援は、月曜のみ 2 名で 3 回分をまとめてセットし、木曜は食品配送や受け取りを少人数で継続しています。

西野川事務所一階は倉庫として使用し、二階事務所の台所にはガスも入っています。コロナが収束したら、延期しているお披露目イベントを予定しています。

第 4 回通常総会について 定款上は書面議決ができず開催しますが、感染防止の観点から、会員の皆さまには委任状等での対応にご協力をお願いします。

※市環境政策課主催こまエコまつり 6 月 7 日(日)予定はコロナ感染対策で中止が決定しました。



こま YELL 家庭訪問の学習支援世帯へお菓子と飲料提供 — 途中で中止、残念！

生活困窮者自立支援法を背景に、狛江市ではこま YELL 事業の一つ学習支援が 4 年目を迎え、家族ぐるみへのサポートをしています。フードバンクからは、年 4 回手作りメッセージ、お菓子や飲料を渡しています。この春も一部の子ども達へ提供しましたが、学習支援の訪問再開のめどが立たず、途中で中止となりました。夏には提供できたらと願っています。

活動報告・今後の予定

・3月

- 3日第10回理事会
- 2~19日ひとり親応援申込
- 9~19日ひとり親応援配送
- 9日東京南部生協よりフードドライブ食品の寄贈
- 6日ファンドレイジング会議
- 18日朝日新聞にひとり親応援の記事が掲載される
- 22日西野川事務所兼倉庫へ移転
- 28日緊急食料支援受付開始

・4月

- 1日西野川事務所・市庁舎の2か所で活動開始
- 2日狛江市副市長との面談
※コロナ感染対策で、市庁舎FDを延期決定
- 5日緊急食料支援配送完了
※緊急事態宣言後さらに自粛
- 17日ファンドレイジング会議
(ZOOMでの会議)
- 20日第11回理事会書面議決

・5月

- 30日第4回通常総会予定
- FB=フードバンク
- FD=フードドライブ
- フードドライブ…家庭で眠る食品を地域の福祉団体やフードバンク等に寄付する活動のこと

活動を支える 寄付・食品寄贈は 当面の間 配送で!

ありがたいフードバンク活動への賛同者の寄付が寄せられています。

17名から、クレジット決済や現金での温かいご寄付を頂きました。市民からの食品寄贈受付場所は現在、6か所中2か所しか開いていません。団体への食品提供は、子ども食堂をはじめ活動休止によりできていません。一方、困っている方から悲鳴に近い SOS も聞こえてきます。自粛の中、少なくなる食品を見て、底をつくかと危惧しながらも、購入費や配送費がかかっても、この夏のひとり親子育て応援を模索しています。応援をお願いします！



春休みひとり親子育て応援と「緊急食料支援」を実施しました

■ 「ひとり親子育て応援」、春休み前に前倒しで実施、67世帯へ配送

2019年の夏休み・冬休みに申し込んだ79世帯にメールで案内し、学校休校の影響で、すぐに67世帯に達しました。高校生以下の子ども104名を含む186名の方に787.2kg(お米245kg)の食品を提供しました。返送されたアンケートには、「毎回楽しみにしています。」「フードバンクという取り組みに感謝しています。」など、感謝や期待の言葉をもらいました。

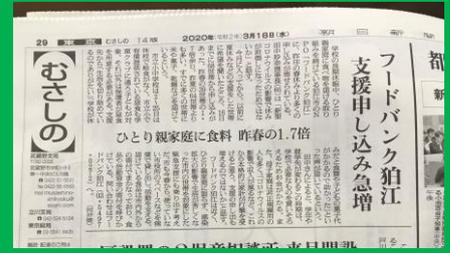
■ 新型コロナウイルス対策緊急食料支援

ひとり親子育て応援後、赤い羽根共同募金助成を受け、新型コロナウイルス対策の困窮世帯支援で先着42世帯へ食料支援をしました。ひとり親家庭へも周知し、すぐに申し込み予定数に到達しました。

[緊急支援の申込理由の抜粋]

「仕事がなく、食べ盛りの子供になかなか食べさせられなくて困っています。」「仕事に行く機会が減り給料が減って…生活が厳しい。」「コロナの影響で出社できなくなり、食費は貯金を崩して出しています…」
「…節約できることはやっていますが、これ以上切り詰められません。食料品費が少しでも抑えられると助かります。」「シフトの激減、次のお仕事が取り消しになり、正直大変です。」など厳しい状況が寄せられました。

3月18日朝日新聞ひとり親子育て
応援が掲載されました！



本年度の事業計画について

残念ながら、本年度の事業計画を変更します

シングルマザーズフォーラムをお呼びし、勉強会開催を予定していましたが、コロナ収束の見通しが立たず、自粛しながら、市の窓口への食品提供とひとり親応援を継続する一年になります。コロナが収束したのちには、新事務所を活用した取り組みにも、ぜひご参加ください。

～理事長コラム～

世界中を新型コロナウイルスとの闘いが覆い、いつ誰もが感染して不思議ではない感染の恐怖からか、監視し合う意識や、大きな閉塞感が漂っています。そんな今、社会や人の在り方が試されている気がしています。これまでフードバンク狛江は市民の支え合いで「食品ロスを困窮者支援に活かす」と考えてきました。豊かな消費生活があり、経済活動が営まれる中では、この活動が可能でした。しかし、コロナ収束の見通しの立たない中、慈善団体としてできる今後の活動を模索しながら、できることをしていく以外の道はありません。ご支援くださる皆さまには、ご理解と、なお一層のお力添えを心からお願いします。

田中妙幸



NPO 法人
フードバンク狛江

〒201-0001
狛江市西野川 1-16-7
TEL:03(5497)0272
※郵送先は上記、西野川住所へ

開所日:毎週月曜・木曜 13時～17時(祝日の際は翌平日開所)
当面時間短縮して活動しています

市庁舎:毎週月曜・木曜 13時～15時(祝日の際は翌平日開所)
当面木曜は自粛、月曜のみ作業